



佐賀大学教育実践研究への 論文投稿の手引き①

「論文種別について」

教育学部附属教育実践総合センター
(文責：石井宏祐)

教育実践研究に投稿できる論文種別

- 佐賀大学教育実践研究は3種類の研究を募集しています。
「教育実践論文」
「研究論文」
「実践報告」
- 教育実践研究は、教育学部と附属学校園及び代用附属学校の教員の積極的な投稿により、全国にも数少ない、実践的な内容が豊富な紀要となっています。そこで特色を活かし、「教育実践論文」や「研究論文」のみならず、速報性を重視した「実践報告」も幅広く執筆募集することで、現場に即役立つ情報が得られるようにしたいと考えています。

教育実践論文

- 教育実践論文とは、幼児教育、初等教育、中等教育、障害児教育等の実践を対象として、教育実践の改善を直接に目指した具体的な提言を行う研究を指します。
- 執筆者が自ら行った教育活動について明確に記述し解説し、その成果として得た結果を述べたものです。
- 客観的に解決の迫られている現実問題に照らしての有用性があり、有用性を検証するための必要十分な情報が確保されていることが要件となります。
- 再現可能性の確保も必要です。
- 問題提起、実践目的、実践内容、実践結果、考察、結論、文献を内容に含むこととします。
- 結論には実践への示唆を記してください。
- 以上の内容を含んだ教材研究は教育実践論文に分類されます。

研究論文

- 研究論文とは、調査研究・実証実験研究などの仮説検証型や仮説生成型の研究及び文献研究を指します。
- 研究目的、方法、結果、考察、結論、文献を内容に含むこととします。

実践報告

- 実践報告とは、研究プロジェクトの記録、教育実践の経過と成果など、実践上のユニークな視点や方法、工夫などの報告を指します。
- 概要、経過、まとめを内容に含むこととします。
- 速報性の観点から教育実践論文や研究論文と同様の価値をもつものと位置づけています。
- 指導案について、概要を記し、指導の経過を整理し、教育実践への示唆をまとめたものは、実践報告に分類されます。